

2024(令和6)年度 社会福祉法人旭会 事業計画書

経営理念

「自分らしく生きる喜びと笑顔あふれる人生を共に」
～to the future～ 未来へ

経営の基本方針

- 1 私たちは知的・発達障害のある人の基本的人権を尊重し、自分らしく生活するためにより良い意思決定ができるよう支援します。
- 2 私たち社会福祉法人は地域の一社会資源である自覚を持ち、開拓的精神をもって地域ニーズと向き合い、必要なサービスを提供することで地域に貢献していきます。
- 3 私たちは本人・家族・職員の幸福な人生に寄与するために安定した法人経営に努めます。

【法人全体の重点目標】

1. 入所利用者の住まいの場としての充実と日中活動の運営改善を目標とした、新入所棟・作業棟の建設計画を確実に遂行する。
2. 利用者の権利擁護に努め、虐待・身体拘束適正化について職員への周知徹底を図る。
3. 新報酬体系後の各事業の経営分析を行い、収支の改善を図り安定的な経営を行う。
4. 次世代のリーダー育成を目標とし、人材育成・教育・OJTのさらなる充実を図る。
5. BCP（事業継続計画）策定後の適切な計画実施と見直しを行う。
6. 高工賃支給の一翼を担う新事業として、インターネットでの販売を開始する。

I. 既存事業の重点目標

【入 所】

「利用者の障害特性に合わせた支援」

重度障害者など、様々な障害特性や支援程度に合わせた適切な支援を提供する。また、高齢化が進んでいることもあり、食事提供方法の改善や介護的要素が増えた利用者への対応方法について適宜見直しを行い、適切な支援を行う。

【グループホーム】

(1) 「グループホーム担当支援員・世話人の連携向上」

① 世話人との意見交換会の充実

世話人との定例会を年3回の予定で実施し、幹部、関係職員同席のもと意見交換を行う。その中で支援における課題の共有と改善に取り組み、より一層の連携向上を目指す。

(2) 「利用ニーズの分析」

① グループホームでの新たな生活様式の検討

現代の利用者ニーズの変化（例：インターネット機能、門限の制限なし）と、昨今の民間グループホーム増加による競争激化に鑑み、新しいグループホームでの生活様式の見直しを行い、今後のニーズに適応したグループホームへの変革を図る。

② 2棟目の包括介護型グループホームの検討

2棟目の包括型グループホームの必要性について、2024年度以降に分析を行う予定である。また、今後の女性専用グループホームのあり方についても今後検討を行っていく。

【就労継続支援B型】

「新規作業・商品の開拓 及び 利用者獲得」

① 新規事業の開拓・新商品の開発

今年度はこれまでの分析、検討を踏まえ事業化(製品化)を実施する。

② 販路拡大

市内集合住宅の清掃業務、県の公共事業の草払いは計画的に受注件数を増やしていく。また、各作業班で現状分析・情報収集を実施し、販路拡大に向けて具体的な戦略を定めていく。

③ 目標工賃の達成（各作業班）

今年度 旭福祉センターの目標工賃 月額30,000円、第二旭福祉センターは昨年度達成できなかった目標工賃 月額28,000円を目標額とする。

④ 作業の質の向上（作業委員会）

今年度も引き続き、各作業班が育成シートを確実に実施できるよう、作業委員会が各作業班と連携をとって、適切な運用管理を行うことで、職員の作業スキル向上を図る。

⑤ 機械化による高効率化（幹部職員）

勤怠管理のソフトを7月に導入し、事務処理の効率化を図り、適切な運用管理を行う。また、その他機器の導入による効率化についても引き続き情報収集を行う。

⑥ 新規利用者獲得

SNSを活用した情報発信を行い、特別支援学校向けの見学・体験会や、定期訪問の実施により、認知度向上を目指す。（取組みの発信）

【生活介護】

「利用者の重度・高齢化に合わせた支援やプログラムの提供」

① ADLの向上及び高齢化に伴う健康維持

現在、生活介護で実施している介護過程においてADLの向上と高齢の利用者に対して実施している健康体操や治療院の訪問マッサージを取り入れ効果が表れている。今後も継続し経過を観察して適宜改善・検討する。

② 利用者の年齢及び特性に合わせた活動内容の検討

現在、若年・高齢・重度の利用者が同室で活動しているが、特性に合わせた支援を提供するために活動場所と支援内容を分けていくことが必要となっているため、その体制のための検討を行っていく。

③ 創作作品のブラッシュアップ

創作作品を販売するためのクオリティと販路も確保することができた。今後はクオリティを確保しつつ、活動の見直しを行い、商品の種類やデザインを増やしていくことを目標にする。

【就労移行】

「認知度向上・就労移行カリキュラムの充実・就労機会の確保」

① 就労移行事業のアピール強化による新規利用者の獲得

チラシ・掲示用ポスター・SNS等を活用した情報発信を行うとともに、特別支援学校向けの見学・体験会の実施、関係機関への定期訪問を通し、認知度の向上を図り、新規利用者の獲得を目指す。

② 就労カリキュラムと就労支援員の育成

就労カリキュラムの運用を通し、適宜見直しや改善を行う。また、カリキュラムの実践を通し、就労支援員のスキル向上を図る。

③ 実習先の確保と就労先への定期的な訪問

利用者が充実した実習ができるよう多種多様な企業の情報収集を行い、新しい実習先を選定する。新しく選定した実習先に対しては、B型・施設外就労等の営業活動も含めた定期訪問 及び、既存の就労先については具体的な訪問計画を立案して実行し、情報の共有と良好な関係の構築に務める。

II. 人が育つ組織づくり

① 管理職と職員の対話を促進

主任クラスの管理職が部下との面談を行うことで、業務への不安や不満などを早い段階から把握し、組織全体に働きかけながら解消方法を模索する。以前に「対話力向上研修」で学んだことをヒントに、今年度も面談を実施するとともに、主任クラスに対しては施設内研修の場で「対話力向上研修」を実施し、面談者のスキルアップを行っていく。

III. 計画的な新規事業の創造

ネット販売プロジェクトの開始（ネット販売プロジェクトチーム）

旭福祉センターホームページ・ECサイト及び SNS（インスタグラム・フェイスブック）を連結させたシステムを構築し、インターネット販売を開始する。

（2024年4月 運用開始予定）

各委員会の重点目標

	委員会	2024年度 重点目標
1	支援	<ul style="list-style-type: none"> 各担当の計画書作成の進捗確認と確実な実行 メンバーの計画書作成のスキルアップ研修の実施
2	生活	<ul style="list-style-type: none"> 役割分担の徹底と協力体制 生活環境充実のための意識向上
3	作業	<ul style="list-style-type: none"> 作業環境整備 各作業班製販計画の目標達成
4	地域	<ul style="list-style-type: none"> 各イベントフロー表に基づいた計画の実行とフィードバック
5	事務	<ul style="list-style-type: none"> 業務効率化の推進 報連相確と情報共有の徹底と連携(各部署、事務所内)
6	炊事	<ul style="list-style-type: none"> 個々の健康状態に合わせた食事管理 調理場内の衛生管理の徹底
7	人権擁護	<ul style="list-style-type: none"> 年間計画の確実な実施 速やかな情報共有
8	行事 A	<ul style="list-style-type: none"> 行事のフローの再確認 早期計画、早期周知の徹底
9	行事 B	<ul style="list-style-type: none"> 行事計画の早期実行 行事計画のフロー作成の実施
10	入所・GH 旅行	<ul style="list-style-type: none"> 利用者同士の親睦、思い出作り。 利用者が楽しめる企画の立案。準備・計画・実行。
11	広報誌	<ul style="list-style-type: none"> 広報誌の早期立案と計画通りの発行
12	EC サイト	<ul style="list-style-type: none"> ECサイト、SNS(インスタ・FB)を連結させたインターネット販売の開始
13	総務	<ul style="list-style-type: none"> 情報発信の向上 働きやすい職場環境の実施(リフレッシュ休暇、4日連続休暇取得等)
14	保健	<ul style="list-style-type: none"> 年間計画の確実な実施 医療機関等と連携を図り、利用者の健康管理を行う

各作業班の重点目標

作業班	2024年度重点目標	目標額
NODOKA	<ul style="list-style-type: none"> ・料理開発 ・集客率アップ ・接客サービスの向上 	7,800,000
楓(菓子班)	<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成(楓のスキルアップ) ・ブランド強化の確立 ・集客率アップ 	21,000,000
竹工	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の適材適所推進 ・職員のマルチスキル化 ・人材育成 	3,500,000
蔬菜	<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成 ・栽培工程共有化(マニュアル作成) ・地域交流 	4,000,000
陶芸	<ul style="list-style-type: none"> ・絵付作業の人材育成 ・個性ある手造り商品の開発 	900,000
施設外就労(公園・地域 清掃・ユーマー清掃)	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者支援の充実 ・関係機関との連携強化 ・地域との関係性の構築 	2,300,000
メンテナンス	<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成 ・作業フロー作成 ・作業体制の確立(隼人) 	23,000,000
味噌	<ul style="list-style-type: none"> ・増産への体制作り ・衛生管理 	1,680,000
生活介護	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者支援の強化 ・創作作品のブラッシュアップ 	120,000
目標額合計		64,300,000

以上